

循環器病看護のプロとして、
私たちは進化する



国立研究開発法人

国立循環器病研究センター 看護部

心・脳血管疾患の予防と治療に挑む 循環器病医療の「最先端の、その先」へ!



医療チームのコミュニケーションを大切に、
夢に向かって挑戦しよう!

理事長 小川 久雄

当センターは、循環器病の専門的治療と研究を行う世界でも有数の施設です。
現在、病院、研究所、研究開発基盤センター、そして企業・大学等研究者と共同研究
を行うオープンイノベーションセンター等が一体となった新しい国立循環器病研究セン
ターを建設中です。2019年に移転し、さらなる発展を目指しています。
その中で、私たちは、何よりも医療チームとしてのコミュニケーションを大切に、
共に夢に向かう仲間として、自身に挑戦できる環境を創っています。

新生へのプロローグ

2019年、国立循環器病研究センター【NCVC : National Cerebral and Cardiovascular Center】は、新しい時代にふさわしい、世界的な健康医療拠点に向け、JR岸辺駅直結、新大阪駅に近接したエリアに、新センターとして建て替え移転します。
移転地は、健康医療都市「健都」として、イノベーションパーク・都市型住宅・複合商業施設等も設けられ、当センターを中心とした循環器病の予防や健康づくりのための一大医療クラスターの形成を目指しています。

当センターの理念

私たちは、国民の健康と幸福のため、高度専門医療研究センターとして循環器疾患の究明と制圧に挑みます。

- 「心臓」と「脳」をトータルに扱う世界でもユニークなセンターです。
- 「病院」と「研究所」の直結が革新的な成果を生み出しています。
- 「研究開発基盤センター」が臨床と研究をより強く結びます。



循環器病看護への熱い思いが、
いつしか看護のやりがいと自信を育みます。

看護部長 三井 佐代子

循環器病看護は、生命の危機に直結した観察力に始まり、いかにアセスメントし、専門的なケアに繋げるか、質の高い看護のあらゆる「力」が求められます。その「力」の源は、あなた自身の熱い思いから発します。
“わからない”でなく「わかる」、 “できない”ではなく「できる」あなたへ向かって、私たちは、全力で支援します。そして、いつしか看護のやりがいと自信を育んでいきます。共に成長できることが、私たちの喜びです。



看護部理念

- あらゆる健康段階の対象のニーズを適切に捉え、最新の知識と技術をもって看護問題をアセスメントし、個別性・創造性をもって看護を実践します。
- 医療を取り巻く社会の変化をふまえ、良好な人間関係構築のもとに対象者の意思決定を支え、チーム医療の調整者として多職種と協働し、保健・医療システムにおける看護専門職の役割を果たします。
- 循環器病看護における高度専門領域に携わる看護職者として、常に自己教育に努め教育的視点を持って互いに成長し、研究的に看護に取り組み、全国への情報発信に努めます。



深く学び、真のプロフェッショナルを育てる

はぐむ

国立循環器病研究センターの「キャリアラダー」は、当院独自の「ジェネラリストラダー」と「スペシャリストラダー」から構成しています。それに伴う教育(学習)計画は、「ジェネラリストラダー」では、看護師としての基本的な成長、「スペシャリストラダー」では、循環器病看護の専門性を伸ばし実践へ活かせるようプログラムしています。

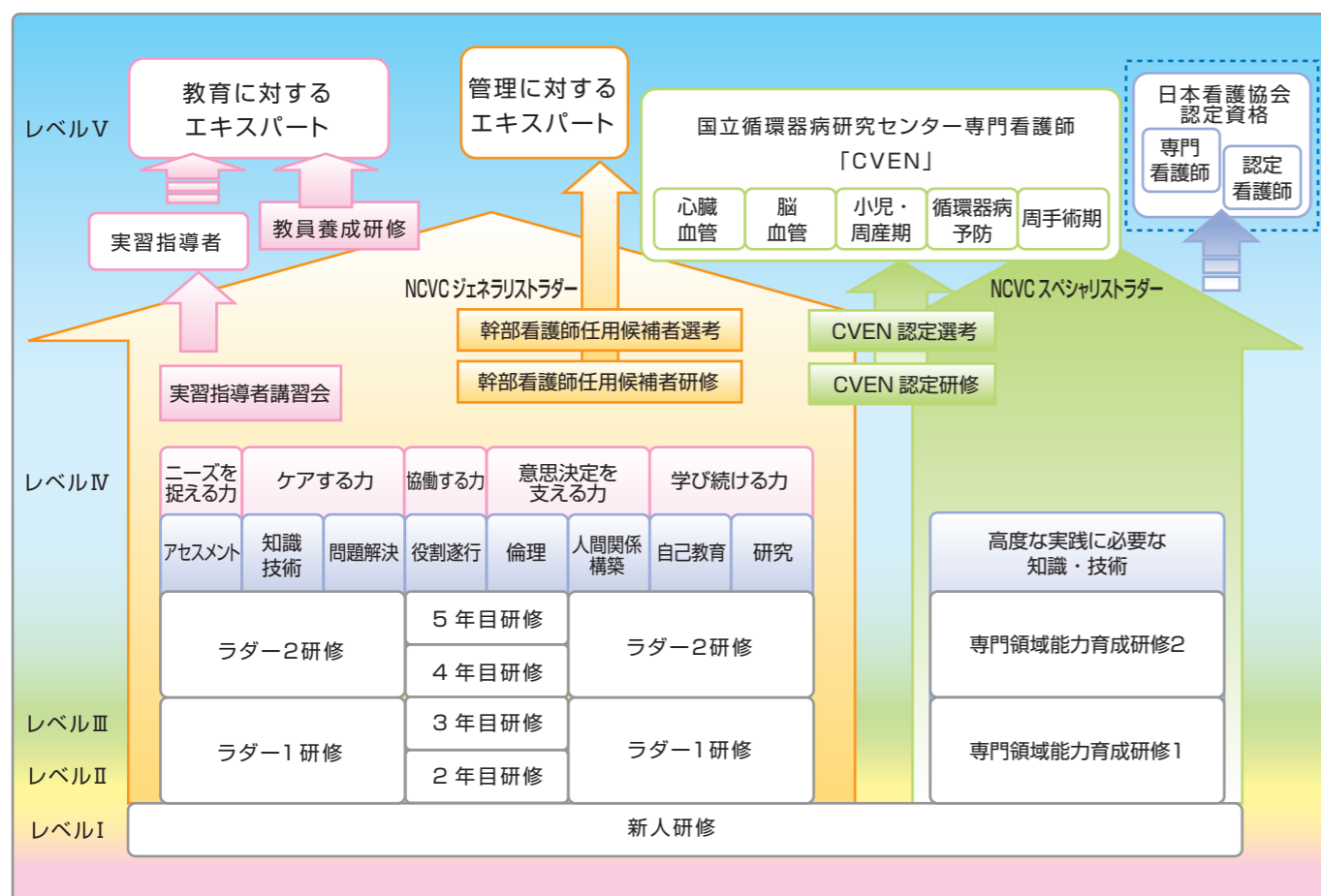
特に、「ジェネラリストラダー」においては、看護師に求める5つの「力」を育てるように、教育(学習)が組み込まれています。看護師としてのスタートである新人研修においては、その5つの「力」の基本的な内容を1年をかけて学んでいきます。その後は、経年別に行われる集合研修と、自身が計画的に選択したラダー研修を受けながら、「力」を育てていきます。

さらに、循環器病看護の専門性を発揮し高度な実践を行う為に、「スペシャリストラダー」で学ぶことで、国立循環器病研究センターの専門看護師「CVEN」への道を開いていきます。

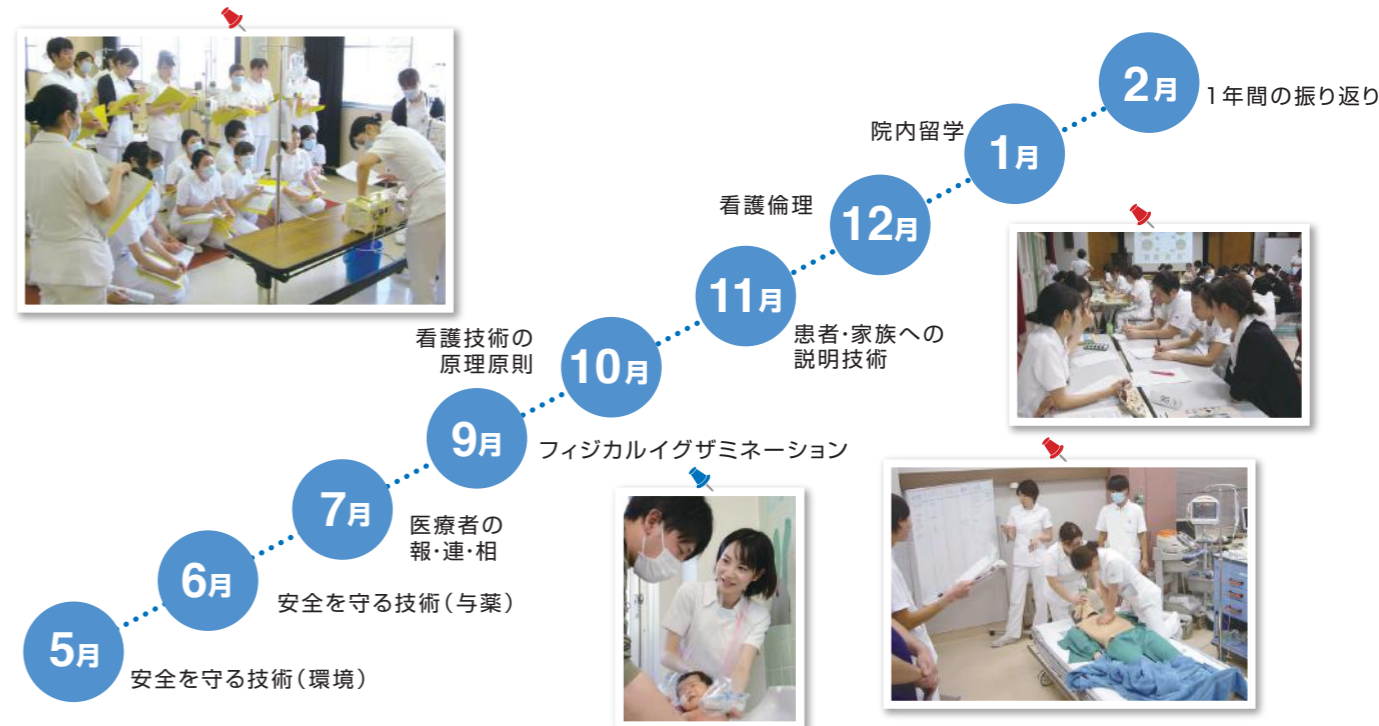
そして、集合教育(学習)と、実践を通しての現場教育(学習)で、看護師としての総合的な「力」が到達できたかを段階的に評価し、レベルアップを目指していきます。自ら学び、互いに学び合える環境を創るために、職員全員でサポートしています。



NCVCにおける新キャリアラダーイメージ・研修概念図



新人研修 一年を通して看護師としての基本的な内容を学びます (平成28年度例)



● 様々な「学習の場」を活かして

実践を通しての現場教育(学習)においては、各配属先の看護単位(病棟・手術室等)のみでなく、学びの範囲を広げるために他看護単位への院内留学や、短期研修も可能です。

集合教育(学習)においては、100人以上で研修可能な図書館講堂、そして、技術演習では、現場さながらの病室・各種ベッド・最新医療機器等が揃ったクラスター棟において、臨場感あふれる研修を展開しています。

また、NCVC外で行われている研修・講習会にも多く参加しています。もちろん学会参加も大切な学習の場です。



クラスター棟にて

NCVC外への情報発信研修 「情報発信」という私達の使命

私たちは、看護部理念の一つである「循環器病看護における高度専門領域に携わる看護職者として、常に自己教育に努め教育的視点を持って互いに成長し、...全国への情報発信に努めます。」を果たすために、NCVC外の看護職者に向けて研修会等を企画し、情報発信に努めています。

毎年、全国より多くの方々研修の受講に来られ、それぞれの施設で活躍されています。

| | |
|---|----------------|
| エキスパート育成研修 臨床経験 4年以上 | 1年コース 2年コース |
| 循環器病診療に従事する看護師研修 臨床経験 3年以上 | |
| ANS(シミュレーション基盤型セミナー) Advanced acute cardiovascular(高度急性期循環器) Nursing(看護) Simulation seminar(シミュレーションセミナー) | |

進化するプロフェッショナルたち

認定看護師 **12**名 皮膚・排泄ケア(1名)、感染管理(3名)、脳卒中リハビリテーション看護(4名)、集中ケア(2名)、緩和ケア(1名)、慢性心不全看護(1名)



かがやく



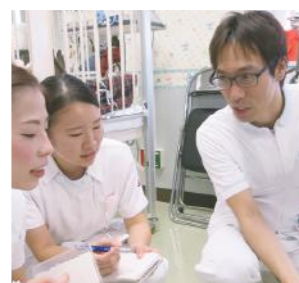
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 山口 理恵子

脳卒中看護は、チームの連携が大切です。医師やリハビリスタッフと協力し患者さんを支えています。急性期の時期からリハビリテーションの視点を忘れずに、より良い看護の提供を目指して取り組んでいます。



感染管理認定看護師 白谷 桂

病院内のすべての人を対象に、感染のリスクを最小限に抑えるという役割を担っています。院内のさまざまな職種と協働して、よりよい感染対策を推進し、患者ケアの向上に努めています。



集中ケア認定看護師 政岡 祐輝

最新の知見にも目を向け、患者の重症化回避、回復促進に努めています。シミュレーション研修等を開催し、スタッフ教育、院外の看護師等への教育にも力を入れています。



皮膚・排泄ケア認定看護師 中屋 貴子

看護の基本の「き」を忘れず、急性期治療中の皮膚障害が予防できるように患者さんの治療環境を守ること看護の力を感じます。患者さんの皮膚傷害が予防でき、また慢性創傷の早期治癒を目指し、チーム一丸となって患者さんを支えます。

集中ケア認定看護師 原田 愛子

生命の危機状態にある患者さんに対して、病態の変化を予測し重篤化の回避の援助ができるよう日々実践、指導しています。重篤な患者さんが回復に向かわれる姿をみると本当にやりがいを感じます。



専門看護師 **3**名 急性・重症患者看護(2名)、小児看護(1名)

急性・重症患者看護専門看護師 高田 弥寿子

心不全患者さんへの緩和ケアチーム活動を通して、専門看護師の立場で判断し、多職種と調整・協働することで患者にとって最善の医療を提供できる喜びを日々感じています。

小児看護専門看護師 笹川 みちる

疾患を持つ子どもが大人になる過程において、治療に関する意思決定の主体を家族から患者本人へ移行できるように支援する取り組みに力を入れています！

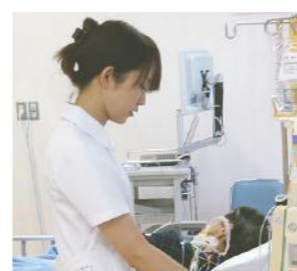


CVEN
Cerebral and Cardiovascular Expert Nurse

CVENとは当センターの専門看護師。「シーベン」と呼んでいます。熟練した知識と技術を持った看護師であり、看護実践におけるモデル的な存在になっています。

- 心臓・血管コース CVEN** 急性心筋梗塞、急性動脈解離など超急性期の看護をはじめ、重症不整脈・重症心不全患者など重症度の高い看護実践においてモデル的役割を担っています。
- 脳血管コース CVEN** 脳卒中看護の質向上を目指して、脳疾患以外の看護に携わる看護師に実践を通して指導する他、麻痺判定など神経サインのみかたや、摂食・嚥下、転倒・転落予防についての勉強会を開催しています。
- 小児・周産期コース CVEN** 乳幼児期・学童期・成人期の病棟とICUに所属し、先天性心疾患を持つ患者さんの直接的なケアはもちろん、愛情をもって子どもと接し、ご家族のケアも大切にしています。
- 循環器病予防コース CVEN** 近年、脳卒中や心疾患を発症される方が増えており、生活管理の重要性が高まっています。予防CVENは、患者さんやご家族に対する生活指導を充実させるために看護師教育を行う他、市民公開講座やイベント、看護相談にも取り組んでいます。
- 周手術期コース CVEN** 心臓移植、ハイブリッド手術などをはじめ、難易度の高い症例や、ロボット手術など最先端医療の手術療法を受ける患者の看護に卓越した技術と知識を持つ水準の高い看護実践者であることを認定し、平成26年度より新設されました。

心臓・血管コースCVEN HCU 藤田 有希代



インストラクターとして、BLS(一次救命処置)・ACLS(二次救命処置)の普及と、質の向上を目指した取り組みを定期的に企画・運営しています。各病棟のニーズに応じたデモンストレーションを実施し、急変時のACLS知識の向上に取り組んでいます。

小児・周産期コースCVEN 5階東病棟 藤田 直美



病気や育児など大きな不安を持つ母親の心理面でのサポートは欠かせません。リスクを伴う出産と分かりつつ産むことを選んだ母親の気持ちを尊重し、無事に産み育てられるよう全力でサポートしています。

小児・周産期コースCVEN 乳幼児病棟 乾 理恵

3つの小児科関連病棟で小児科看護手順を作成し、子どもを見る誰もが同じケアを提供できるようになりました。今後も、子どもたちが安全・安楽に過ごせるよう活動していきたいです。



周手術期コースCVEN 6階西病棟 小森 一人

NCVC初の周手術期CVENとして、手術室看護師に対してだけでなく、病棟看護師の外科的処置に関連した知識の勉強会や技術指導を行っています。病棟で行う創傷処置時の清潔操作など、必要な基礎知識や技術の習得が確実にできるよう支援しています。



私たちは、信じて繋がる

つな がる



心臓血管内科

- 9階西病棟 (40床)
主に生活習慣病のある患者さんに、生活改善を目指して、多職種でケアを行っています。人工透析室では導入期の患者さんや、各診療科の腎機能障害を合併した患者さんに透析看護をしています。
- 8階東病棟 (35床)
心筋症、弁膜症からくる心不全患者さんの教育入院から終末期ケア、心臓移植待ちの患者さんを受け入れ、幅広い看護を行っています。
- 7階西病棟 (35床)
肺高血圧症の拠点病院であり、在宅エポプロステノール持続静注療法の自立に向けた患者支援に努めています。
- 7階東病棟 (39床)
不整脈や心筋症の患者さんのケアを行っています。ペースメーカー植え込みやカテーテルアブレーションなどの短期間クリティカルパス入院の患者さんが安心して自己管理できるように看護しています。
- CCU (内科系心臓集中治療室) (8床 2:1看護)
心筋梗塞、心不全、不整脈、肺高血圧の内科系疾患のクリティカルケアを要する患者さんの集中治療ケアを行っています。併設する緊急外来も担っており24時間体制で緊急患者さんを受け入れています。
- HCU (ハイケアユニット) (16床 4:1看護)
冠動脈疾患・重症心不全・急性大動脈解離・重症不整脈などの患者さんを幅広く受け入れており、救急症例や重症症例に迅速に丁寧な個別性のある看護をしています。



7階西病棟



8階西病棟

心臓移植

- 8階西病棟 (22床)
補助人工心臓を装着して心臓移植を待つ患者さんと移植後の患者さんのケアを行っています。日本最多の心臓移植が行われており、移植看護の礎を築いてきました。

心臓血管外科

- 6階西病棟 (40床)
大血管・末梢血管疾患の外科的治療を受ける患者さんの術前・術後のケアを行っています。低侵襲の手術ができるようになり、高齢の対象者が増加しており、高齢者の特徴を踏まえた看護をしています。
- 6階東病棟 (39床)
弁置換術や経カテーテルの大動脈弁植え込み術 (TAVI)、冠動脈バイパス手術を受ける患者さんの術前・術後のケアを行っています。また、成人期をむかえた先天性心疾患の患者さんに対し、社会復帰をサポートできるよう看護を行っています。
- ICU (外科系集中治療室) (16床 2:1看護)
大血管や成人心疾患、小児先天性心疾患や心移植などの術後患者さんの集中治療ケアを行っています。術直後の合併症の予防と早期発見、早期離床を念頭に、全身状態を的確にアセスメントし、質の高いクリティカルケアを行っています。



ICU (外科系集中治療室)

脳血管内科

- 10階西病棟 (40床)
脳卒中の回復期にある患者さんがスムーズに転院・在宅へ移行できるように多職種と連携を持ち、病棟リハビリ・摂食嚥下・退院支援などに力を入れています。
- 10階東病棟 (40床)
脳卒中の亜急性期から回復期の看護の提供を中心とし、心疾患の患者さんを受け入れています。血管疾患の内科的治療の患者さんも多く、フットケアや生活指導等、退院後安心して生活して頂けるように援助しています。
- SCU (脳卒中ケアユニット) (21床 3:1看護)
脳卒中の急性期患者さんの神経兆候のモニタリングを行い、診療チームの核として血栓溶解療法や血栓回収療法など最先端の脳卒中治療を支えています。



10階東病棟

脳血管外科

- 9階東病棟 (40床)
脳動脈瘤、頸動脈狭窄、もやもや病、脳動静脈奇形などの疾患を抱えた患者さんのケアを行っています。手術、カテーテル、γナイフ治療を組み合わせた治療、看護を行っています。
- NCU (脳外科集中治療室) (集中治療4床 2:1看護) (ハイケア10床 4:1看護)
脳出血やくも膜下出血患者の術前・術後の患者さんに厳重な血圧管理や神経兆候のモニタリング等の集中ケアを行っています。



NCU (脳外科集中治療室)

小児・周産期 (産・婦人科)

- 5階東病棟 (36床)
先天性心疾患を中心に乳幼児期から学童期・思春期・成人期と幅広い発達段階の患者さんのケアを行っています。
- 周産期病棟 (産・婦人科) (21床+14床 (新生児))
循環器疾患を合併した妊産婦さんと、胎児で心疾患が診断された妊産婦さんのケアを助産師と看護師が協働して行っています。
- 乳幼児病棟 (PICU6床 2:1看護) (NICU6床 3:1看護) (小児一般13床)
小児心疾患集中治療室 (PICU) と新生児集中治療室 (NICU) を有し、先天性心疾患や心臓移植の術前・術後の管理や重症心不全、重症不整脈の乳幼児期の患児の集中ケアを行っています。



5階東病棟



乳幼児病棟

手術室 (10室)

年間3000件の手術を行っています。重症で緊急性の高い手術が多く、2交替制をとり24時間手術に対応しています。先進医療や難易度の高い手術にも、チームワークと充実したラダー教育で取り組んでいます。

カテーテル室 (7室)

年間5500件(うち緊急対応は1000件)のカテーテル検査治療を行っています。心臓や脳の血管造影検査や経皮的血管内治療、アブレーションや塞栓術など多岐にわたります。24時間緊急検査に対応し、医療チームの中心となって看護をしています。



手術室

外来

デバイス外来や移植外来、肺高血圧外来など循環器特有の外来や、禁煙外来・フットケア外来など横断的な分野を担っています。看護外来では病棟と連携して在宅療養に向けた支援を実践しています。



入院センター

| | | | | |
|-----|--------------------------|---|--------------------------|---|
| 10F | 10F西病棟 脳血管内科 | 10F東病棟 脳神経内科・ 心臓血管内科 | SCU (脳卒中ケアユニット) | 人工透析室 |
| 9F | 9F西病棟 高血圧・腎臓・代謝内科 | 9F東病棟 脳神経外科 | ICU (心臓血管外科集中治療室) | 手術室 |
| 8F | 8F西病棟 重症心不全・移植 | 8F東病棟 心不全 | HCU (ハイケアユニット) | 看護部長室 |
| 7F | 7F西病棟 虚血・肺高血圧 | 7F東病棟 不整脈・心筋症 | CCU (心臓血管内科 集中治療室) | カテーテル検査室 |
| 6F | 6F西病棟 心臓血管外科・ 血管内科 | 6F東病棟 心臓血管外科・ 小児循環器科 | 緊急外来 | 医療安全推進室 専門医療連携室 病床運用統括室 教育・研修室 褥瘡対策室 感染対策室 |
| 5F | 5F西病棟 診療用多目的室 | 5F東病棟 小児循環器科 | 患者情報室 | 食堂 |
| 4F | 周産期病棟 産・婦人科 | 乳幼児病棟 小児循環器科 PICU (小児集中治療室) NICU (新生児集中治療室) | 中材・SPD | 更衣室 |
| 3F | 心臓 リハビリテーション | NCU (脳神経外科集中治療室) | | |
| 2F | 脳リハビリテーション | 専門外来 | | |
| 1F | | 初診外来 | | |
| B1F | | | | |

新しいあなたがひろがる

ひろがる



Q & A

● 知りたいことは聞いておこう！ ●

- Q** 授業で循環器は難しかったですが、ついていけるでしょうか？
A 病棟では、プリセプターや教育係のサポートがあります。また、院内で勉強会に参加できる機会も多くあります。やる気があれば大丈夫です。
- Q** 採用試験は、難しいのでしょうか？
A 筆記試験は、基本的な問題です。小論文も、臨地実習で真面目に取り組んでいれば、自然と文章は出てきますよ。ご安心下さい。
- Q** 勤務したい病棟・診療科に就職できるのでしょうか？
A 採用試験の時に、希望する病棟・行いたい看護等のご希望を書いて頂きます。しっかりとご記入下さい。入社されてからも、病棟配置換えの希望等も定期的にお聞きしています。
- Q** 関西は初めてで不安です。関西出身の方が多いのでしょうか？
A 九州・中四国・関東出身者が、それぞれ100名程度勤務しています。約50%が関西以外の出身で、県人会などの活動もあります。
- Q** 男性の看護師は多いですか？病棟で働けるのでしょうか？
A 90名、約15%が男性看護師です。一般病棟でも勤務しています。メンズ会などで交流して仲良くしていますよ。



- Q** 日頃の生活は不便ではないでしょうか？
A 生活環境は整っています。商業施設が近隣に充実していて、プライベートも楽しんでいます。
- Q** 結婚しても勤められますか？
A 25%が既婚者です。院内保育所を利用しながら子育てと仕事を両立しています。母性保護に関する制度が整っているので安心して下さい。
- Q** 病院が新しく移転すると聞きますが、準備は進んでいるのでしょうか？
A 平成28年8月に建設が始まりました。今、設備や物品、新しい電子カルテの準備に取りかかろうとしています。夢がいっぱいです。
- Q** どんな看護師を求めていますか？「国循」に合っているか心配です。
A 私たちは、
 ☆ 看護の基本的な技術を丁寧に実践できる看護師
 ☆ 自ら考え、根拠をもって判断し、チームと協調して行動できる看護師
 ☆ 循環器の専門的な看護を積極的に学び、研鑽できる看護師
 ☆ 心身共に健康的に、看護職務を継続できる看護師
 ☆ 看護専門職業人としてのプライドをもち、熱い気持ちを忘れない看護師
 を求めています。
 いくつ、当てはまっていますか？

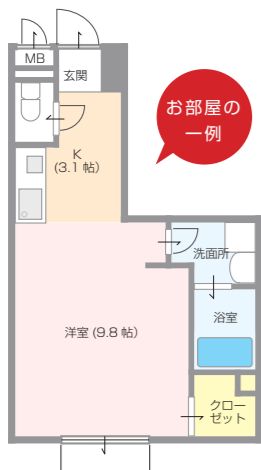


● 充実した福利厚生で働きやすい環境を提供します

目標を持ってしっかりと働く切磋琢磨のハードな日々。しかしそこには助け合える仲間と暖かく見守る頼もしい先輩がいます。また休日は気分を切り替えて思い切りリフレッシュ。そして生涯の仕事として安心して長く続けられる設備・環境も整備されています。

長く安心して快適に仕事ができる環境

● 看護職員宿舎 ●



看護職員宿舎は、敷地内と借り上げマンションを合わせて約200室あります。どの部屋もリフォーム済で大変綺麗です。またオートロックやエアコン・IHコンロも完備され、安心安全の設備が整っています。通勤にも便利で賃料の補助もあります。



● 院内保育（おひさま保育所） ●

2011年9月にオープンした職員専用の保育所です。職員の勤務時間に合わせ、保育時間が19時までと通常より長く、保育料も優遇されるので便利です。職員が安心して仕事ができるように、生後57日目から未就学児まで利用でき、一時保育、夜間保育にも対応しています。

※8:00~19:00（基本）
 早朝（毎日）、延長（月曜日）、夜間（火曜日）保育あり



● OFFはオフ！体も心もリフレッシュ！ ●





国立研究開発法人
国立循環器病研究センター



〒565-8565 大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号
TEL : 06-6833-5012 (代) FAX : 06-6833-9865
<http://www.ncvc.go.jp>



大阪屈指のベッドタウン、緑豊かな吹田市にあり
大阪・京都・神戸へのアクセス抜群の立地。



〈Access〉

- JR東海道線・新幹線「新大阪」駅下車→地下鉄御堂筋線・北大阪急行線「千里中央」駅下車→阪急バス粟生団地行「循環器病センター前」下車
- 阪急電鉄千里線「北千里」駅下車→阪急バス粟生団地行「循環器病センター前」下車
- 伊丹空港→大阪モノレール「千里中央」駅下車→阪急バス粟生団地行「循環器病センター前」下車
- 名神高速道路「吹田IC」より約10分
- 名神高速道路「茨木IC」より国道171号線「今宮交差点」を経て約20分

